

主催：日本ソルフェージュ研究協議会

第14回 研究発表会

日時：2022年11月6日(日) 14:00 開演(13:30 開場)

会場：東京藝術大学 5-109 教室

対象：①対面…一般及び会員 要予約 下記に予約方法記載(申し込み締切 11月3日(木)17:00)

②オンライン(アーカイブ)…会員限定

Web配信期間 2022年12月5日(月) 20:00～2023年1月9日(月) 10:00

◆日本のソルフェージュ教育の在り方と今後への展望のための試論

～フォルマシオン・ミュージカル受容の考察を中心として



大町 和海 OMACHI Kazumi

東京大学文学部を経て、東京藝術大学音楽研究科修士課程音楽文化学専攻(ソルフェージュ研究分野)を修了。現在同博士後期課程に在籍。伴奏ピアニスト、作編曲家として活動中。これまで遠藤明佳、北本秀樹、安良岡章夫、佐藤岳晶、ローラン・テシュネ、照屋正樹、江口玲各氏に師事。

本発表は、日本におけるソルフェージュ改良の試みとしてのフォルマシオン・ミュージカル受容及び実践の歴史を概観し、改良を経てなお日本のソルフェージュ教育の現場が直面している課題を分析した上で、更なる改良のための理論構築を試みるものである。またこれに付随して、そもそもフランスにおいて成立したフォルマシオン・ミュージカルが本質的にどのような教育思想であったかという点にも議論を及ぼしている。なお本発表の内容は2021年度に東京藝術大学音楽研究科に提出した同題目の修士論文に基づき、そこにその後の研究の進展の成果を若干加えたものである。

◆楽器聴音をととした音色へのアプローチ

◆楽器聴音をととした音色へのアプローチ



台信 遼 DAINOBU Ryo

国立音楽大学作曲科卒業、パリ国立高等音楽院作曲科第1課程および第2課程修了。作曲を中島良史、夏田昌和、アラン・ゴースン、フレデリック・デュリユー、ジェラルド・ペソン各氏に師事。これまでにヴェネツィア・ビエンナーレ、アルス・ムジカ、ヤング・ブラハ国際音楽祭、ユネスコ国際作曲家会議などで楽曲を発表。近年はアンサンブル室町、The Shakuhaichi 5などの演奏団体との協働で邦楽器作品にも取り組んでいる。現在、国立音楽大学および同大学附属高等学校、洗足学園音楽大学非常勤講師。

本研究発表は、ソルフェージュ教育の一環として行われている「楽器聴音(ピアノ以外の楽器音を用いた聴音)」の取り組みの中から、楽器の特性や奏法によって生じる「音色」の違いを聴き取る学習の試みについて、報告するものである。発表では、まず本研究の契機となったパリ国立高等音楽院の作曲科入学試験の一つである Reconnaissance de timbres の概要と過去の出題例を紹介し、音色を対象とした聴音の方法とその目的を検証する。後半では発表者が実際に行った授業の内容をワークシートに沿って紹介したのち、音色の認識を焦点とした聴音学習の意義と可能性について、学習の結果を参照しながら考察する。

入場料：無料(会員以外の方は、当日以下の経費負担をお願いいたします) 一般 1,000円 学生 500円

定員：先着 50名

申し込み方法：次のいずれかの方法でお申し込みください。(申し込み締切 11月3日(木)17:00)

① Google Form (QRコードまたはURLから)
<https://forms.gle/yKUHTe3dVQXHYWTp7>

② Eメール
事務局宛に氏名・メールアドレス・電話番号を明記し、直接お申し込みください。

Google Form



Homepage



facebook



申し込み先：

問合せ先：日本ソルフェージュ研究協議会事務局

Tel. 090-5566-8567 (留守番電話)

E-mail: ni.sol.ken@gmail.com <http://www.ni-sol-ken.com/index.html>

会員ログイン用QRコード



尚、感染症の状況により対面開催を中止する場合、お申し込みが定員を超えた場合にはHPでお知らせいたしますので、あらかじめご了承ください。

オンライン視聴は以下の会員ログインのURLもしくは左のQRコードからお入りください。
<http://www.ni-sol-ken.com/member/auth.php>

